

令和6年 業種別労働災害発生状況

(令和6年1月1日～9月30日現在)

函館労働基準監督署

業種別	区分	令和6年9月末			令和5年9月末			対前年		業種・割合 (%)	令和5年(確定)		
		死亡	休業4日以上	計	死亡	休業4日以上	計	増減数	増減率 (%)		死亡	休業4日以上	計
全産業合計		4	492 (18)	496 (18)	2 (1)	642 (16)	644 (17)	-148	-23.0	100.0	3 (1)	861 (23)	864 (24)
除く鉱業計		4	492 (18)	496 (18)	2 (1)	642 (16)	644 (17)	-148	-23.0	100.0	3 (1)	861 (23)	864 (24)
製造業			79 (1)	79 (1)		81	81	-2	-2.5	15.9		109	109
内 訳	水産食料品		43	43		43	43			8.7		59	59
	他の食料品		13	13		15	15	-2	-13.3	2.6		20	20
	木材木製品・家具		6	6		7	7	-1	-14.3	1.2		9	9
	窯業土石製品		4 (1)	4 (1)		1	1	3	300.0	0.8		2	2
	金属・機械		3	3		4	4	-1	-25.0	0.6		5	5
	輸送用機械等		4	4		3	3	1	33.3	0.8		4	4
	その他		6	6		8	8	-2	-25.0	1.2		10	10
鉱業													
土石採取業			2 (1)	2 (1)		1	1	1	100.0	0.4		1	1
建設業		3	40	43		65 (5)	65 (5)	-22	-33.8	8.7		88 (6)	88 (6)
内 訳	土木工事業	1	17	18		26 (5)	26 (5)	-8	-30.8	3.6		35 (5)	35 (5)
	建築工事業	1	18	19		25	25	-6	-24.0	3.8		32 (1)	32 (1)
	木造建築業		4	4		3	3	1	33.3	0.8		9	9
	その他の建設業	1	1	2		11	11	-9	-81.8	0.4		12	12
道路貨物運送業		40 (3)	40 (3)		34 (1)	34 (1)	6	17.6	8.1		45 (1)	45 (1)	
その他の運輸		6	6		6 (1)	6 (1)			1.2		11 (3)	11 (3)	
陸上貨物取扱業		2	2		1	1	1	100.0	0.4		1	1	
港湾運送業		1	1				1		0.2				
林業		3	3		2 (1)	2 (1)	1	50.0	0.6		4 (1)	4 (1)	
水産業		9	9	1	12	13	-4	-30.8	1.8	1	19	20	
卸売・小売業		47 (1)	47 (1)		59 (1)	59 (1)	-12	-20.3	9.5		76 (1)	76 (1)	
清掃業		22	22		18 (1)	18 (1)	4	22.2	4.4		35 (4)	35 (4)	
その他の事業		1	241 (12)	242 (12)	1 (1)	363 (6)	364 (7)	-122	-33.5	48.8	2 (1)	472 (7)	474 (8)
内 訳	保健衛生業		177 (1)	177 (1)		289 (1)	289 (1)	-112	-38.8	35.7	1	370 (1)	371 (1)
	接客娯楽業		22 (6)	22 (6)		23	23	-1	-4.3	4.4		39	39
	その他	1	42 (5)	43 (5)	1 (1)	51 (5)	52 (6)	-9	-17.3	8.7	1 (1)	63 (6)	64 (7)
今月のコメント	<p>1 労働災害の状況(令和6年9月発生分) 全産業の労働災害は496名で、前年同時期に比べ、148名減少しています。 事故の型別では、多い順に「その他」が136名、「転倒」が110名、「はさまれ・巻き込まれ」及び「動作の反動・無理な動作」がそれぞれ48名となっています。</p> <p>2 9月受付分について 全体で86名の令和6年発生分の労働者死傷病報告を計上しました。業種別で多い順に、保健衛生業が48名、道路貨物運送業が7名となっています。</p> <p>3 コメント 北海道労働局では、例年10月から12月までにかけて、建設工事現場で重篤な労働災害が多く発生する傾向にあることから、建設工事追い込み期労働災害防止運動を実施します。墜落・転落災害を重点事項として、重機災害、崩壊・倒壊災害等各種災害防止対策に取り組んでください。</p>												